

# 經營戰略方針

## 2022～2025

豊中市

令和4年(2022年)9月

# 目次

1. 経営戦略方針の目的と位置付け .....	1
2. 本市を取り巻く現状と課題 .....	3
3. めざすまちの姿 .....	5
4. 経営戦略の考え方 .....	7
(1) 経営戦略の定義	
(2) 基本的な考え方	
(3) 実行期間	
(4) 進行管理	
5. 5つの戦略と取組方針 .....	10
戦略1 市民サービス向上戦略	
戦略2 人・組織づくり戦略	
戦略3 財務戦略	
戦略4 共感・共創戦略	
戦略5 未来への投資戦略	
<b>【参考】</b>	
2022年度～2025年度の主な取組み予定 .....	17
経営戦略方針2019～2022の主な取組み .....	18

-1- 経営戦略方針  
の目的と  
位置づけ

-2- 本市を  
取り巻く  
現状と課題

-3- めざすまち  
の姿

-4- 経営戦略  
の考え方

-5- 5つの戦略  
と取組方針

# 1

## 経営戦略方針 の目的と位置付け



# 経営戦略方針の目的と位置付け

- 本市は、平成30年(2018年)4月から「第4次豊中市総合計画」をスタートさせ、同年6月には、市長が掲げる基本理念に基づき、「基本政策(期間:2018年度～2021年度)」を取りまとめました。また、基本政策および第4次総合計画を着実に推進するための具体的指針として、令和元年(2019年)9月に「経営戦略方針2019～2022」を策定しました。
- 「経営戦略方針2019～2022」のもと、南部地域の活性化や公民学連携や広域連携等に取り組んできました。また、新型コロナウイルス感染症による環境の変化をふまえ、令和2年(2020年)9月に方針を改訂し、行政サービスにおけるデジタル活用等、新たな社会を創造するための取組みを進めてきました。
- 令和4年(2022年)6月には、これまで着手した施策をさらに深化、発展させていく取組みや、未来を見据えた新たな取組みなどを盛り込んだ、「基本政策(期間:2022年度～2025年度)」を策定しました。
- 「第4次豊中市総合計画」および「基本政策(期間:2022年度～2025年度)」を引き続き、経営的視点で、スピード感をもって着実に進めるための『指針』として「経営戦略方針2022～2025」を策定するものです。

-1-

経営戦略方針  
の目的と  
位置づけ

-2-

本市を  
取り巻く  
現状と課題

-3-

めざすまち  
の姿

-4-

経営戦略  
の考え方

-5-

5つの戦略  
と取組方針



# 2

## 本市を取り巻く 現状と課題

# 本市を取り巻く現状と課題

-1- 経営戦略方針  
の目的と  
位置づけ

-2- 本市を  
取り巻く  
現状と課題

-3- めざすまち  
の姿

-4- 経営戦略  
の考え方

-5- 5つの戦略  
と取組方針

## 01 人口減少・少子高齢化

- 本市の現在の人口は約40万人で推移していますが、将来的には緩やかに人口は減少し、老年人口は増加することが想定されます。
- また、人口構成の変化に伴い、労働人口や地域活動における担い手不足が課題となっています。
- こうした変化を見据え、社会情勢に即した市民サービスのあり方を検討する必要があります。

## 02 SDGsの推進

- SDGsは、令和12年(2030年)までに達成すべき持続可能な開発目標のことです。貧困問題の解消など、持続可能な社会をつくるために世界が一致して取り組むべきビジョンや課題が網羅されています。
- 令和2年(2020年)7月、本市は「SDGs未来都市」に選定されており、SDGs達成に向けた総合的かつ効果的な取組みを進めています。

## 03 環境問題

- 地球温暖化による気候変動は世界規模で確実に進んでいます。
- 令和3年(2021年)2月、本市は吹田市と気候非常事態共同宣言を行い、令和32年(2050年)ゼロカーボンシティをめざすことを表明しました。
- 気候変動がもたらす様々なリスクへの対策をとっていくとともに、ゼロカーボンシティの実現に向けた取組みを進めることが必要です。

## 04 新型コロナウイルス感染症の影響

- 新型コロナウイルスの世界的な感染拡大を受けて、人や経済の動きが大きく変化しました。
- 感染症対策に加えて、営業自粛等で大きな影響を受けた地域経済の再生に向けた対策を速やかに講じていくことが求められます。
- また、コロナ禍への対応により得た知見を活かし、アフターコロナを見据えた事業展開をすすめることが重要となります。

## 05 デジタル化の推進

- 新型コロナウイルス感染症を契機とした、生活様式の変化により、デジタル技術を活用した取組みが加速されました。
- 誰もが便利さを実感できるよう、デジタルを活用したサービスを更に拡充するとともに、デジタルデバイドの解消に向けた取組みが必要です。

## 06 2025年国際博覧会(大阪・関西万博)の開催

- 2025年日本国際博覧会(以下、万博)の大阪への誘致が決定し、大阪市夢洲での開催に向けた準備が進められています。
- 万博では、地球規模の様々な課題に取り組むために、世界中からたくさんの人やモノが集まります。
- 空の玄関口として大阪国際空港が果たす役割がよりいっそう重要となります。

-1- 経営戦略方針  
の目的と  
位置づけ

-2- 本市を  
取り巻く  
現状と課題

-3- めざすまち  
の姿

-4- 経営戦略  
の考え方

-5- 5つの戦略  
と取組方針

# 3

## めざすまちの姿



# めざすまちの姿

基本理念 「未来につなぐまちづくり – 「創る改革」とよなか 夢 みらい –」のもと、

豊中に住む人・働く人・学ぶ人、一人ひとりが “豊かに生きること” ができるまち

づくりを進めます。

さらに変革を通して、多くの皆さまに「**住み続けたい・住んでみたい**」と思って

いただけるまち、選ばれるまちをめざします。

## 成果指標

- 人口維持
- 市民満足度の向上
- 財務指標の維持・向上（税込、経常収支比率等）





-1-

経営戦略方針  
の目的と  
位置づけ

-2-

本市を  
取り巻く  
現状と課題

-3-

めざすまち  
の姿

-4-

経営戦略  
の考え方

-5-

5つの戦略  
と取組方針



# 4

## 経営戦略の考え方

# 経営戦略の考え方

## (1) 経営戦略の定義

既成概念やこれまでのやり方にとらわれず、未来に向けて中長期的な視点に立ち、今なにをすべきかを考え、様々な主体と連携・協働しながらスピード感をもって行動することを「経営」ととらえます。

そして「経営」を行う上で、資源の充実を図りながら効果的・重点的に投資し、めざす未来へ到達するためのシナリオを「戦略」と定義します。

## (2) 基本的な考え方

- 常に「**市民起点**」で市民にとってより価値のあるサービスを提供します。
- SDGsの基本理念である「**誰一人取り残さない**」を根底に、中長期的な視点で、様々な関係者とのパートナーシップのもと、取組みを進めていきます。
- 誰もがそれぞれの個性や違いを活かして社会で活躍できるよう、**ダイバーシティ(多様性)**を推進します。

### (3) 実行期間

令和4年度(2022年度)～7年度(2025年度)

### (4) 進行管理

- 経営戦略方針は、「第4次豊中市総合計画」および「基本政策」を経営的視点をもって着実に推進するための『指針』であり、本方針の進捗は政策評価および政策の具体的な取組みを示す基本政策の進行管理をもって評価・公表していきます。

※政策評価および基本政策は、毎年度、進捗状況を評価・公表します。

- 経営戦略会議において、「経営戦略方針」に基づく取組状況を確認します。
- 毎年度、「経営戦略方針」に基づく、予算重点項目を設定します。

-1- 経営戦略方針  
の目的と  
位置づけ

-2- 本市を  
取り巻く  
現状と課題

-3- めざすまち  
の姿

-4- 経営戦略  
の考え方

-5- 5つの戦略  
と取組方針

# 5

## 5つの戦略と 取組方針

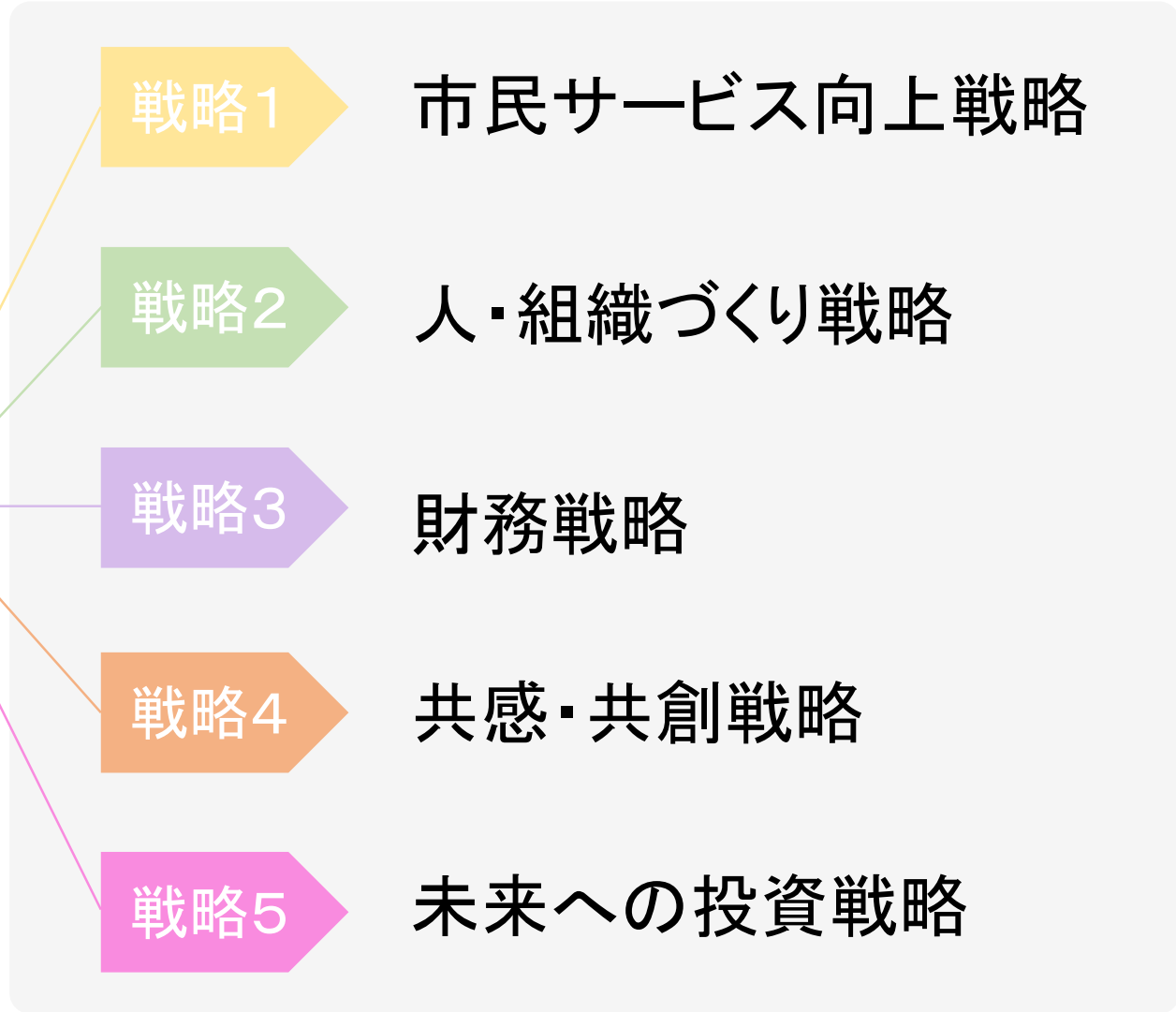


# 5つの戦略と取組方針

本市がめざす未来を実現するためのシナリオ(戦略)として、次の5つを軸に取組みを進めます。

“豊かに生きること”ができる  
まち

“住み続けたい  
・住んでみたい”  
まち



# 戦略1. 市民サービス向上戦略

市民が便利で快適に生活を送ることができるよう、デジタル技術の活用を推進します。また、社会情勢や未来を見据えた新たな価値の創出や既存事業の見直し、施設の再編や最適な整備・管理手法を導入します。

## 取組方針1-1 デジタル・ガバメントの推進

- 市民サービスの最適化(UI(使いやすさ)/UX(使用体験)向上)
- データ利活用の推進
- 住民生活や地域社会におけるデジタル化の推進
- デジタルデバイドの解消や情報リテラシーの向上

## 取組方針1-2 事業・施設マネジメントの強化

- 事業見直しによる市民サービスの充実
- データに基づく、効果的な施策の推進
- 施設の複合化・多機能化によるサービスの充実
- 適切な施設整備・管理手法の検討と運用

# 戦略2. 人・組織づくり戦略

複雑多様な行政課題や市民ニーズに対応し、的確かつ柔軟に施策を展開できるよう、人材と組織づくりを進めます。

## 取組方針2-1 人材育成の推進

- 戦略を支える人材の育成と能力開発
- すべての職員の活躍と挑戦を支える環境づくり
- 職員の働きがいや仕事に対する貢献意欲の向上
- 多様な人材確保にむけた採用活動の強化

## 取組方針2-2 簡素で最適な執行体制の構築 とガバナンスの強化

- 効率的かつ柔軟な組織体制の整備
- 事務の適正な執行確保に向けた内部統制・管理体制の強化

# 戦略3. 財務戦略

変革をとおして財源を創出するとともに、生み出した財源の効果的な投資による地域・まちの活性化、都市の発展成長を促す好循環をつくり出し、一層の財務基盤の強化へとつなぎます。

取組方針3-1  
変革をとおした財源創出

- 新たな発想による事業改革・市有地利活用
- データ分析にもとづく税収向上策等の推進

取組方針3-2  
投資および好循環による  
財務基盤の強化

- 「戦略5 未来への投資」戦略に沿った投資の実施



# 戦略4. 共感・共創戦略

市民に共感いただき、共に市政を進めていくため、市からのメッセージや情報をわかりやすく、効果的に発信するとともに、対話の機会の充実を図ります。

## 取組方針4-1 伝える力・聴く力の強化

- 適切な手法・タイミング・媒体による効果的な情報発信
- 情報のわかりやすさの強化
- 市民との対話の機会の充実

## 取組方針4-2 都市ブランドの向上

- 地域資源を活かした魅力の創造
- 効果的な魅力発信

## 取組方針4-3 オープンイノベーションの推進

- 多様な主体との協働による公民学連携の推進
- 民間委託や指定管理者制度などによる事業手法の最適化
- 近隣、他自治体等との広域連携の推進

# 戦略5. 未来への投資戦略

未来の豊中を創っていくために、次の3つの優先課題に対し、重点的に投資します。

取組方針5-1  
子どもたちの笑顔あふれる未来  
のために

- 子ども視点に立った魅力ある学校づくり
- 子どもたちの人権を守る環境づくり
- 「生まれる前」から子育て支援

取組方針5-2  
コロナを乗り越え、元気いっぱいの  
豊中へ

- 感染症対策の強化
- 市民の健康・暮らしを守る支援
- 地域経済の再生・活性化支援

取組方針5-3  
暮らしを便利に快適に

- 日々の生活や学びを充実させるデジタル技術の導入
- 多様な主体との連携による地域課題の解決や新たな市民サービスの創出

## 【参考1】 2022年度～2025年度の主な取組み予定

- |            |   |
|------------|---|
| 市民サービス向上戦略 | <ul style="list-style-type: none"><li>● 次期デジタル・ガバメント戦略の策定・推進</li><li>● 市民の利便性・快適性向上に資する公共施設の再編や有効活用</li></ul>                                       |
| 人・組織づくり戦略  | <ul style="list-style-type: none"><li>● 次期人材戦略の策定・推進</li><li>● 効果的・効率的な組織体制の整備</li></ul>  |
| 財務戦略       | <ul style="list-style-type: none"><li>● 税データ分析に基づく税収向上策の実施</li><li>● 基本政策・経営戦略方針に沿った重点投資および効果検証</li></ul>   |
| 共感・共創戦略    | <ul style="list-style-type: none"><li>● 多様な媒体を通じた情報発信と対話</li><li>● 南部地域の活性化</li><li>● 民間事業者やNATS(豊中市・吹田市・西宮市・尼崎市)等、他自治体との連携</li></ul>               |
| 未来への投資戦略   | <ul style="list-style-type: none"><li>● 小中一貫教育の推進</li><li>● 児童相談所の開設</li><li>● 新型コロナウイルスを要因として低下した心身機能の向上や認知症予防施策</li><li>● デジタル地域ポイントの導入</li></ul> |

## 【参考2】 経営戦略方針2019～2022の主な取り組み

生産性・成果向上戦略	<ul style="list-style-type: none"><li>● デジタル・ガバメントの推進（オンライン手続き・キャッシュレス決済拡充など）</li><li>● 新たな事務事業の見直しの方針策定・運用</li></ul>
人・組織づくり戦略	<ul style="list-style-type: none"><li>● 他自治体や民間事業者等との人材交流</li><li>● 女性の管理職比率向上（H30:20.9%→R3:25.4%）</li><li>● 状況に応じた柔軟な組織改編（「デジタル戦略課」「コロナ健康支援課」新設など）</li></ul>
財務戦略	<ul style="list-style-type: none"><li>● 中長期的視点をふまえた財務マネジメント（中期財政計画の改訂）</li></ul>
共感・共創戦略	<ul style="list-style-type: none"><li>● 広報誌リニューアル</li><li>● 公民学連携窓口の設置、連携協定の締結</li><li>● NATS（豊中市・吹田市・西宮市・尼崎市）をはじめ、他自治体との連携</li></ul>
未来への投資戦略	<ul style="list-style-type: none"><li>● 学び方改革の推進（タブレット端末の一人一台配備など）</li><li>● 保育定員等の確保、ひとり親支援、子育て相談体制の充実</li><li>● 防災公園の整備（ふれあい緑地、野畑南公園）</li><li>● 庄内コラボセンター建設工事・開設準備（2023年2月開設予定）</li></ul>